



学校だより

御前崎市立白羽小学校

かがやく浜の子

平成28年 9 月 5 日

『子どもたちの元気な声が響く学校』

残暑残る8月29日、台風の影響も心配されましたが、体調の不良で欠席をする子どももなく元気に2学期の始業式を迎えられました。「健康で安全に」「元気が一番」が何よりの宝です。本当に幸せなことであると心から感謝したいと思います。



2学期の始業式では、元気いっぱいの子どもたちに次の話をしました

今年の8月は特別な夏でした。気温が去年より高くなったり、台風や大雨で災害があつたり、悲しい事件が起こったりとニュースを聞かたびに心が暗くなることもありました。

でも、特別な感動を与えてくれる夏でもありました。ブラジルで開催された「リオデジャネイロ・オリンピック」です。日本の選手や世界の選手の活躍から、感動をたくさんもらいました。日本とはちょうど地球の反対側の国ですから、時差があつてテレビの放映を夜遅くや朝早くに家の人と一緒に見た人もいたでしょうね。

皆さんはどんな競技に感動しましたか。どの選手に感動をもらいましたか。私は、磐田市出身の二人が活躍した「卓球」の団体戦から、目が離せませんでした。そして、御前崎市出身の陸上400メートルリレー、第2走者の飯塚翔太選手の走りにも手に汗握りました。速かったよね。すばらしい走りだったよね。仲間を信じて全力で走り、渡すバトンに日本人の「仲間を思う強い絆」と「チームワーク」を感じて鳥肌が立ち、涙が出ました。

バトミントンダブルスの高松ペア、高橋、松友選手が決勝で競り勝ち、金メダルを獲得した後のインタビューで、「金メダルをとれたのは、最後まであきらめなかったことと、支えてくれた人や今まで戦ってきた選手たちがいたからです。だから感謝したい・・・」と答えていました。自分の努力と、仲間への感謝、この思いが金メダルをとるという目標を達成することにつながったのだと思います。



これは、オリンピックだけではなく、すべてのことにつながると思いませんか。

学校生活もそうです。自分の努力はもちろんのこと、一緒に頑張る仲間やそれを支えてくれる家族、先生、たくさんの人のおかげで一つのことが成し遂げられるのです。

毎日の授業も、学年や学校行事も、学校生活すべてがそれにつながっています。

努力や感謝とともに、2学期は、一緒に生活する友だちのよさをたくさん見つけてください。そして自分のよさをもっともっと発揮してください。それが、『自分からチャレンジ みんなとチャレンジ』につながっていきます。先生たちも、みんなの頑張りのいいところを、『宝探しの目』でいっぱい見つけていきます。

今日から2人増えて299人になった子どもたちと先生方、白羽小をつくる人みんなの頑張りに、校長の私は大いに期待し私も一緒にがんばります。(校長増田久美子)